



Title	訪日中国人の観光行動と観光消費に関する事例分析：子供連れの親族訪問客を対象として
Author(s)	師, 耀軒; 孫, 昊; 吉田, 裕介; 山本, 康貴
Citation	北海道大学農経論叢, 67, 1-6
Issue Date	2012-03-31
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/49126
Type	bulletin (article)
File Information	67_1.pdf



[Instructions for use](#)

訪日中国人の観光行動と観光消費に関する事例分析

- 子供連れの親族訪問客を対象として -

師 耀 軒・孫 昊・吉 田 裕 介・山 本 康 貴

Travel Behavior and Expenditure of Chinese Visitors in Japan : A Case Study of Visiting Relative & Family

Yaoxuan SHI, Hao SUN, Yusuke YOSHIDA and Yasutaka YAMAMOTO

Summary

The fact that the number of Chinese visitors has recently been increasing more rapidly than any other group of tourists from overseas has drawn a great amount of attention in the Japanese tourism industry. The purpose of this study is to examine the status of their travel behavior and expenditures, using a Chinese family of visitors to Japan as a case study. A time-use survey was used as the study method, with a Chinese family visiting Japan as the subject. The results of our analysis showed a tendency to try to save travel costs, as well as a tendency to go to many sightseeing places and to try to ensure the greatest possible amount of time for sightseeing.

1. はじめに

訪日外客を増やすことは日本における観光政策の重要課題である。特に、近年、中国からの訪日外客を促進するために、日本政府は様々な政策を打ち出した。2011年7月より、沖縄数次ビザという訪日中国人個人観光客向けの査証受付が開始され、訪日中国人特に個人観光客は、今後大幅に増加することが期待されている。

訪日外客の観光動向については、主として、空港等におけるアンケート調査で得られたデータ（例えば、日本政府観光局，2010）は公表されている。わが国における既存の観光研究でも、多数の観光客に対し、アンケート調査の手法を用いて、観光行動などの分析が行われている（新井，2010；木沢，2008）。

近年、個別の観光客レベルで、具体的にどのような観光行動を行っているのかの情報に基づき、新たな観光戦略や施策を構築して行こうとする動きが見られるようになってきた（長尾他，2005）。また、観光客が観光地でどのように日々過ごしているのかを把握することは、今後の観光振興計

画の立案などにおいても重要な基礎的知見となる（有馬他，2010）。しかしながら、とりわけ、個人観光客について、観光中に、「いつ、何をし、何を食べ、どこに泊まり、どれだけのお金を使ったか」などの観光実態を、空港等で配付回収するアンケート調査によって、把握することは困難である。

こうした背景から、GPS（長尾他，2005；野村他，2006）、時間地理学（有馬他，2010）、生活時間調査（初他，2007）などの方法を用いて、個別の観光客について、詳細な観光行動を調査する研究例が増えつつある。しかしながら、これら既存研究において、訪日外国人を分析対象とした例は、初他（2007）が散見される程度であり、今後、大幅な増加が見込まれる訪日中国人個人観光客を対象とした研究例を見出すことは出来なかった。また、これらの既存研究では、個別の観光客における観光行動の分析のみに留まっており、観光に要した消費金額についても同時に分析している研究例を見出すことが出来なかった。

そこで、本論文では、個人観光客である訪日中

国人を事例として、訪日期間中における観光行動と観光消費の実態を同時に解明することを課題とした。本論文における分析対象事例は、日本のH大学に留学中の中国人研究者に会いに来た親族訪問客である。具体的な分析対象者は、H大学に留学中の30代男性である中国人の文系研究者（以下、受入側）に会いに来日した30代女性である彼の中国人妻と就学前の中国人女子児童1人（以下、親族訪問側）である。本論文が調査対象とする観光旅行は、親族訪問側と受入側が、一緒に中国へ帰国（留学も終了）する直前に出かけた東京、京都、大阪への観光旅行（6泊7日）とした。

2. 分析方法とデータ

本論文では、まず、観光行動については、生活時間調査の調査方法（総務省統計局，2008）を用いて分析する。消費実態については、領収書を分析対象者に保存してもらい、領収書がない支出については、どこで、何にどれだけ支出したかを記録してもらった。

3. 分析結果と考察

1) 東京の観光行動と観光消費の実態

表1は観光旅行3日目までの動きである。

1日目の朝、起床後、8時から8時15分まで自宅で、パンなどの朝食をとった。その後、空港へ向かい、飛行機に搭乗した。搭乗便は、格安航空会社（航空券代：大人17,000円×2人，小人15,500円×1人，合計49,500円）である。羽田空港に到着した後、モノレール、JR，地下鉄を乗り継ぎ、16時に、ホテルにチェックインした。利用したホテルは、ビジネスホテルである（3泊料金は無料朝食つきで合計27,070円）。この日は16時にホテルにチェックインするまでの間、昼食はとらなかった。ホテルで少し休んだ後、日本橋付近の飲食店で、17時15分から17時45分まで、夕食をとった。夕食の内容は、ラーメンや餃子などである（夕食代2,130円）。夕食後は、東京駅周辺、皇居付近、東京タワー（入場料合計1,950円，記念品代850円）を見物した。ホテルに戻ったのは、22時45分である。就寝は0時30分であった。

2日目の朝7時に起床後、7時30分から8時まで、ホテルで朝食をとった。8時にホテルを出発

し、午前は、主に東京駅付近及び皇居付近を見物した。その後、地下鉄とモノレールで、お台場へ移動した。11時30分から、お台場にある日本未来科学館の館外で、持って来たパンやお菓子などの軽食を食べた。その後、12時から、日本未来科学館を見学した（入場料2,600円）。17時から17時15分まで、お台場にあるセルフ式飲食店で、かけうどんやうな丼などの夕食をとった（夕食代1,380円）。その後、台場駅付近を見物した後、銀座へ移動した。銀座を散策後、ホテル周辺（人形町）に戻り、21時から21時30分まで、人形町駅付近の居酒屋で酒を飲んだ（ビール代1,000円，つまみ代900円，合計1,900円）。ホテルに戻ったのは、21時45分である。就寝は23時であった。

3日目の朝は、起床後、7時30分から8時まで、ホテルで朝食をとった。8時にホテルを出発し、地下鉄と電車で東京ディズニーランド（TDL）に移動した。TDLへ入園した後は、子供連れでもあるため、主として子供向けの園内エリアなどで過ごした。15時から15時45分まで、園内にあるレストランで、ハンバーガーなどの昼食をとった（昼食代1,620円）。その後、レストランでの夕食はとらずに、ポップコーンやアイスクリームなどを食べて、閉園時間（22時）近くまでTDLで過ごした。ホテルに戻ったのは22時45分である。就寝は1時であった（表2）。

表2は観光旅行4日目から7日目までの動きである。

4日目の朝は、起床後、7時45分から8時15分まで、ホテルで朝食をとった。ホテルをチェックアウトして8時15分にホテルを出発し、地下鉄、電車、東京ディズニーリゾートラインで東京ディズニーシー（TDS）へ移動した。4日目の夜に、夜行バスで東京を出発し、京都へ向かう旅程となっていたため、TDSへ入園する前に、荷物をロッカーに預けた。TDS入園後は、ショーなどを見物し、12時から、園内にあるレストランで、中華料理の昼食をとった（昼食代2,280円）。昼食後、夕食はとらずにお菓子やアイスクリームなどを食べて、20時30分までTDSで過ごした。その後、ロッカーに預けた荷物を持って、京都行きの夜行バス乗り場へ移動し、21時45分発の夜行バスで、京都へ向かった（バス代合計13,750円）。このため、

訪日中国人の観光行動と観光消費に関する事例分析

表1 東京、京都、大阪 6泊7日宿泊旅行の内容 1日目から3日目（8月23日月曜日から8月25日水曜日）

時刻	行動内容	消費内容	金額(円)	金額割合 ¹⁾
(8月23日月曜日)				
7:30	起床し、洗顔した後、朝食を作る			
8:00	朝食をとる(ラーメン,パン)			
8:15	部屋を掃除し、旅行の荷物をチェックする			
9:15	家を出発し、友人の車で新千歳空港へ移動する			
10:45	搭乗手続きを済ませ、飛行機で羽田空港へ移動する	スカイマーク航空券 ²⁾	49,500	24.0%
14:15	羽田空港に到着し、JRなどでホテルまで移動する	大人2人の交通費	1,560	0.8%
16:00	ホテルにチェックインし、休憩する	東横イン人形町ホテル宿泊費 ³⁾	27,070	13.1%
16:45	徒歩で日本橋方面へ移動する			
17:15	日本橋付近の飲食店で夕食をとる	夕食代: ラーメン(840円×2杯), 餃子(300円), 卵(150円)	2,130	1.0%
17:45	東京駅方面へ移動し、皇居の前門を見物する			
19:30	地下鉄で東京タワーへ移動し、東京タワーを見物する	大人2人の地下鉄代 3人の展望台入場料合計	340 1,950	0.2% 0.9%
		東京タワー記念品	850	0.4%
21:45	地下鉄と徒歩でホテルへ移動する	大人2人の地下鉄代	480	0.2%
22:45	ホテルに戻り、シャワーを浴びる	飲み物代1日分 ⁴⁾	600	0.3%
23:00	インターネットで友人にメッセージを送る			
23:15	調査票を書き、次の日の旅行準備をする	1日目の合計金額:	84,480	40.9%
(8月24日火曜日)				
0:30	就寝する			
7:00	起床し、外出の支度をする			
7:30	朝食をとる(ホテルのビュッフェ)			
8:00	ホテルを出発し、徒歩で皇居へ移動する			
8:30	東京駅付近及び皇居を見物する		940	
11:00	お台場へ移動する	大人2人のモノレール代及び地下鉄代		0.5%
11:30	お台場にある日本未来科学館館外で軽食をとる(パン,お菓子など)		2,600	
12:00	日本未来科学館を見学する	大人2人のドラえものの科学みらい展入場料	1,380	1.3%
17:00	お台場にある飲食店で夕食を取る	夕食代: かけうどん(430円), いか天(100円), うな丼(850円)		0.7%
17:15	台場駅付近を見物した後、お台場で夜景を眺める		940	
20:00	銀座へ移動し、散策する	大人2人のモノレール代及び地下鉄代	340	0.5%
20:45	人形町へ移動する	大人2人の地下鉄代	1,900	0.2%
21:00	人形町駅付近にある居酒屋で酒を飲む	飲酒代: ビール(大600円, 中400円) おつまみ(300円×3個)		0.9%
21:30	ホテルへ移動する		600	
21:45	ホテルでネットでチャットし、シャワーを浴びる	飲み物代1日分 ⁴⁾		0.3%
22:15	次の日の旅行準備をした後、調査票を書く		8,700	
23:00	就寝する	2日目の合計金額:		4.2%
(8月25日水曜日)				
7:00	起床し、外出の支度をする			
7:30	朝食をとる(ホテルのビュッフェ)			
8:00	ホテルを出発し、東京ディズニーランドへ移動する	大人2人の地下鉄及び電車代	580	0.3%
8:30	頭の飾り物を購入する	中人カチューシャ	1,500	0.7%
8:45	入園し、広場でショーを見る	TDL, TDSの2Dayパス ⁵⁾	26,900	13.0%
10:00	アトラクションなどを体験・見物する			
15:00	「トモローランドテラス」で昼食をとる	テリヤキチキンバーガーセット(790円), エビカツバーガーセット(830円)	1,620	0.8%
15:45	パレードを見た後、アトラクションなどを体験・見物する			
19:00	花火を見て、買い物をする	レインコート(500円×2個)	1,000	0.5%
19:30	アトラクションなどを体験・見物する			
22:00	ホテルへ移動する	大人2人の電車及び地下鉄代	580	0.3%
22:45	ホテルに戻り、子供のシャワーを手伝う	飲み物代1日分 ⁴⁾	600	0.3%
23:00	今日取った写真を整理する	アイスクリームなどの軽食1日分 ⁶⁾	4,600	2.2%
23:30	シャワーを浴びる	3日目の合計金額:	37,380	18.1%

出所) 実態調査(2010年8月23日～8月29日)により作成。

注1) 金額割合 = (該当する項目の消費金額) / (6泊7日間の消費総額)。6泊7日間の消費総額は206,598円。

注2) 航空券代は旅行開始前の支払いである。大人: 17,000円×2人, 小人: 15,500円。

注3) 宿泊費は3泊分であり、朝食代込み禁煙ダブル: 8,500円×3泊, 小児寝具貸出料: 1,570円。

注4) 飲み物の購入時刻は未記入であったため、1日総額である。

注5) TDL, TDSの入園料は旅行開始前の支払いである。大人: 10,000円×2人, 小人: 6,900円×1人。

注6) アイスクリームなどの軽食の購入時刻は未記入であったため、1日総額である。

表2 東京, 京都, 大阪 6泊 7日 宿泊旅行の内容 4日目から 7日目 (8月26日木曜日から 8月29日日曜日)

時刻	行 動 内 容	消 費 内 容	金額 (円)	金額割合 ¹⁾
(8月26日木曜日)				
0:00	調査票を書き, 次の日の旅行準備をする			
1:00	就寝する			
7:00	起床し, 外出の支度をする			
7:45	朝食をとる(ホテルのビュッフェ)			
8:15	ホテルを出発し, 東京ディズニーシーへ移動する	大人2人の地下鉄代など	1,240	0.6%
9:00	荷物をロッカーに預ける	ロッカールーム代	1,400	0.7%
9:15	入園し, アトラクションなどを体験・見物する			
12:00	「ヴォルケイニア・レストラン」(中華レストラン)で 昼食をとり, 休憩する	昼食代: 中華セット(1780円), ライス(200円), 春巻(300円)	2,280	1.1%
13:30	アトラクションなどを体験・見物する	バイナップルのお菓子	210	0.1%
20:30	預けた荷物を取り出し, 京都行き夜行バスの出発を待つ	飲み物代1日分 ²⁾ アイスクリーム1日分 ³⁾	1,000 660	0.5% 0.3%
21:45	夜行バスで京都へ移動する	京成夜行バス代 ⁴⁾ 4日目の合計金額:	13,750 20,540	6.7% 9.9%
(8月27日金曜日)				
6:15	京都駅北8条に到着し, 荷物をロッカーに預ける	ロッカールーム代	1,400	0.7%
7:00	清水寺へ移動し, 途中で軽食を購入し, 食べる	大人2人のバス代 軽食代	440 1,200	0.2% 0.6%
8:00	清水寺までの道を散策し, 買物をする	手芸品などのお土産	3,400	1.6%
9:00	清水寺を見物し, 途中で朝食をとり, 休憩する	豆腐, 蕎麦など	2,000	1.0%
11:00	清水坂を散策した後, 京都大学へ移動する	大人2人のバス代	440	0.2%
12:30	京都大学正門前のイタリア料理店で昼食をとる	昼食代: ポロネーゼ(525円), 厚切りベーコンカリボ(577円), ビール(525円), 牛乳(157円)	1,784	0.9%
13:30	金閣寺へ移動し, 金閣寺を見物する	大人2人のバス代	440	0.2%
15:15	荷物を預けたロッカーまで移動する	大人2人のバス代	440	0.2%
16:15	荷物を整理した後, 電車でホテルへ移動する	大人2人の電車代	1,080	0.5%
17:45	ホテルにチェックインし, 休憩する	東横イン難波ホテル宿泊費 ⁵⁾	17,850	8.6%
19:00	シャワーを浴び, ネットの情報をチェックする			
20:00	ホテル周辺を散策する			
21:00	和食料理店で夕食をとる	和定食	2,000	1.0%
22:00	ホテルに戻り, 洗顔した後, 調査票を書く			
23:30	就寝する	5日目の合計金額:	32,474	15.7%
(8月28日土曜日)				
7:30	起床し, 外出の支度をする			
8:00	朝食をとる(ホテルのビュッフェ)			
8:30	ホテルを出発し, 地下鉄で大阪城へ移動する	大人2人の地下鉄代	460	0.2%
9:15	大阪城付近のスーパーで買物する	お菓子と飲み物代合計	814	0.4%
9:45	大阪城公園を散策する	大阪城入場代, 水上バス代セット合計	4,800	2.3%
12:00	大阪城を見物する	和菓子(630円), 瓜切り(420円)	1,050	0.5%
14:00	大阪城周辺を散策した後, 水上バスで観光する			
16:00	地下鉄で難波駅へ移動する	大人2人の地下鉄代	460	0.2%
16:45	なんばCITYを散策する			
18:00	難波駅付近の飲食店で夕食をとる	瓶ビール(540円), とり弁(700円), てりやき弁当(900円), から揚げ定食(780円)	2,920	1.4%
18:30	「コクミン」と「ダイコクドラッグなんば店」で買物する	ソックスや化粧品などの合計 ストックングや化粧品などの合計	4,296 3,844	2.1% 1.9%
19:30	次の日の旅程を調べ, 地下鉄でホテルへ移動する	大人2人の地下鉄代	400	0.2%
20:00	ホテルに戻り, シャワーを浴びる	飲み物代1日分 ²⁾	1,000	0.5%
20:15	ネットで友達へのメッセージに返信する	アイスクリーム1日分 ³⁾	1,200	0.6%
20:30	調査票を書き, 調査依頼人に郵送した後, 荷物を整理する			
22:30	就寝する	6日目の合計金額:	21,244	10.3%
(8月29日日曜日)				
6:00	起床した後, ホテルを出発し, 関西空港へ向かう	大人2人の電車代	1,780	0.9%
7:30	空港で飛行機の搭乗手続きをし, 飛行機で帰国する			
20:00	中国の自宅に到着する	7日目の合計金額:	1,780	0.9%

出所) 実態調査(2010年8月23日~8月29日)により作成。

注1) 金額割合 = (該当する項目の消費金額) / (6泊7日間の消費総額)。6泊7日間の消費総額は206,598円。

注2) 飲み物の購入時刻は未記入であったため, 1日総額である。

注3) アイスクリームの購入時刻は未記入であったため, 1日総額である。

注4) 京成夜行バスのバス代は旅行開始前の支払いである。大人: 5,500円×2人, 小人: 2,750円×1人。

注5) 宿泊費は2泊分である。朝食代込み禁煙ツイン: 8,925円×2泊。

4日目はホテルには宿泊せず、バスの中での車中泊となった。

2) 京都と大阪の観光行動と観光消費の実態

表2は観光旅行4日目から7日目までの動きである。

5日目の朝6時15分に、夜行バスで京都に到着した。まず荷物をロッカーに預けた後、世界文化遺産である清水寺へ向かった。清水寺に向かう途中で、手芸品などのお土産を購入し(土産代3,400円)、また、豆腐や蕎麦などを食べた(朝食代2,000円)。清水寺を見物した後は、バスで京都大学へ移動した。京都大学周辺のイタリア料理店で、12時30分から13時30分まで、スパゲティなどの昼食をとった(昼食代1,784円)。昼食後、金閣寺を見物した後、京都駅へ戻って大阪へ向かった。17時45分に、難波周辺のホテルにチェックインした。利用したホテルは、ビジネスホテルである(2泊料金は無料朝食つきで合計17,850円)。ホテルで荷物を整理し、シャワーを浴びるなどした後、20時からホテル周辺を散策し、21時から、夕食をとった。夕食の内容は、和定食であった(夕食代2,000円)。就寝は23時30分であった。

6日目の朝は、起床後、8時から8時30分まで、ホテルで朝食をとった。8時30分にホテルを出発し、地下鉄で大阪城方面へ向かった。大阪城付近に到着した後、9時15分に、大阪城付近のスーパーで、お菓子や飲み物などを購入した(814円)。その後16時まで、大阪城公園や大阪城を見物し、大阪城公園にある水上バスにも乗った(入場料と水上バス代合計4,800円)。この間、レストランなどの昼食はとらずに、午前中にスーパーで購入したお菓子などを飲食した。大阪城をモチーフにした和菓子や爪切りの土産も購入した(土産代1,050円)。16時に、大阪城公園から難波へ戻り、16時45分から、なんばCITYを散策した。18時から18時30分まで、難波駅付近の飲食店で、ビール、てりやき弁当、から揚げ定食などの夕食をとった(夕食代2,920円)。18時30分から19時30分までは、2店のドラッグストアで、土産を購入した。土産の内容は、化粧品(ボディローション、ボディパウダー、リップクリーム、日焼け止めなど)やストッキング、ソックスなどであり、殆どが単価1,000円未満のものであった。2店のドラッグス

トアでの土産代合計金額は8,140円であった。ホテルに戻ったのは20時である。ホテルでは、荷物整理などの後、22時30分に就寝した。そして、翌日7日目の午前発の便で、関西空港を出発し、中国へ帰国した。

3) 考 察

今回、分析対象となった中国人客の旅行先は、東京と関西である。東京と関西をめぐる旅程は、中国人観光客の「ゴールデンルート」と呼ばれ、中国人観光客の典型的な旅行先の一つである。

食事については、今回の調査では、一般観光客向けの高価な外食などは見られない点が特徴であり、旅費節約志向である傾向が見られる。

ホテルでの朝食は無料であるため、ホテルに泊まった日の朝食は、主にホテルでとられている。

昼食については、1日目はとらず、2日目がパンや菓子など、3日目がハンバーガーなど、4日目が中華、5日目がスパゲティなど、6日目が菓子などである。6日間で、3日間は、昼食抜きが菓子などだけで済ませている。その他3日間は、飲食店での食事であるが、家族3人での1回の昼食代は、最高でも2,280円である。

夕食については、1日目がラーメン・餃子など、2日目がかけうどんやうな丼など、3日目と4日目が菓子など、5日目が和定食、6日目がから揚げ定食やてりやき弁当などである。3日目と4日目は、TDLとTDSに滞在した日であり、高価となる園内レストランでの夕食利用が避けられている。飲食店での食事において、家族3人での1回の夕食代は、最高でも2,920円である。

交通についても、節約志向の傾向が見られる。具体的には、第1に、格安航空会社を利用している。第2に、東京から京都への移動には、夜行バスを利用している。第3に、観光地内での移動には、地下鉄などの公共交通機関を利用している。宿泊や土産についても、節約志向の傾向が見られる。具体的には、第1に、ビジネスホテルを利用している。第2に、土産は、主にドラッグストアで購入した品(化粧品など)であり、これら土産品の単価は殆どが1,000円未満である。

東京、京都、大阪における観光内容については、多くの観光地を巡るべく、観光時間を多く確保しようとする傾向が見られる。観光時間確保の具体

例としては、第1に、昼食や夕食を菓子などで済ませている。第2に、夜行バスを利用して、移動時間を夜間にし、早朝に到着後、すぐに観光を開始できる旅程としている。第3に、ホテル滞在日においては、おおむね朝8時前後にホテルを出発し、夜10時前後にホテルに戻っている。つまり、一日の大半をホテル外で過ごしている。

4. 結 論

本論文では、個人観光客である訪日中国人を事例として、訪日期间中における観光行動と観光消費の実態を解明した。本論文における分析対象事例は、日本のH大学に留学中の中国人研究者に会いに来た親族訪問客であった。具体的な分析対象者は、H大学に留学中の30代男性である中国人の文系研究者（以下、受入側）に会いに来日した30代女性である彼の中国人妻と就学前の中国人女子児童1人（以下、親族訪問側）であった。本論文が調査対象とする観光旅行は、親族訪問側と受入側が、一緒に中国へ帰国（留学も終了）する直前に出かけた東京、京都、大阪への観光旅行（6泊7日）であった。

分析の結果、今回の事例の場合、食事については、一般観光客向けの高価な外食などは見られない点、交通については、格安航空会社や夜行バスを利用している点、宿泊についてはビジネスホテルを利用している点、土産については安価な（1,000円未満の）品が殆どである点などが見られ、全体として、旅費節約志向である傾向が見られた。また、観光内容については、多くの観光地を巡るべく、観光時間を多く確保しようとする傾向も見られた（註1）。

註

（註1）本誌レフリーより、本論文の結果を「同年齢と思われる日本人学生観光客と比べると更に興味深い結論が導ける」可能性がある旨のコメントを頂いた。調査対象者数を増やし、こうした属性が異なる観光客と本論文の結果を比較分析して行くことは今後の課題である。

引用文献

新井直樹（2010）「訪日中国人旅行者の観光動向と地域のインバウンド観光振興策 クルーズ船中国人乗

降客の観光動向調査をもとに」『日本観光研究学会第25回全国大会論文集』, 373~376.

有馬貴之・駒木伸比古・菊地俊夫（2010）「小笠原諸島父島における観光客の行動特性 時間地理学的手法を用いて」『日本観光研究学会第25回全国大会論文集』, 181~184.

初丹丹・村上和夫（2007）「留学生のネットワークを活かす「個人旅行」に関する考察」『日本観光研究学会第22回全国大会論文集』, 309~312.

木沢誠名（2008）「関西における中国人の観光行動研究 観光行動の進化・多様化に関するモデル化の試み」『日本観光研究学会第23回全国大会論文集』, 121~124.

長尾光悦・川村秀憲・山本雅人・大内東（2005）「GPSログからの周遊型観光行動情報の抽出」『情報処理学会研究報告』第78巻, 23~28.

日本政府観光局（2010）『JNTO訪日外客訪問地調査2009』, 国際観光サービスセンター.

野村幸子・岸本達也（2006）「GPS・GISを用いた鎌倉市における観光客の歩行行動調査とアクティビティの分析」『総合論文誌』第4号, 72~77.

総務省統計局（2008）『平成18年 社会生活基本調査報告 第8巻 詳細行動分類による生活時間編（調査票B）』, 総務省統計局.